

会津坂下町 橋梁長寿命化修繕計画



上開津橋

令和5年3月
(令和7年3月改訂)

福島県河沼郡会津坂下町

— 目 次 —

I. 様式1-1

※（ ）は「道路メンテナンス事業補助制度」
における補助要件

1. 長寿命化修繕計画の目的	1	—国土交通省— インフラ長寿命化 基本計画における記載事項
2. 長寿命化修繕計画の対象橋梁	3	1. 対象施設
3. 健全度の把握及び日常的な 維持管理に関する基本方針	5	2. 計画期間
（・老朽化対策における基本方針） （・新技術等の活用方針）		
4. 対象橋梁の長寿命化及び修繕・架替え に係る費用の縮減に関する基本的な方針	7	3. 対策の優先順位の考え方 4. 個別施設の状態等
（・費用の縮減に関する具体的な方針）		
5. 対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期 及び修繕内容・時期又は架替え時期	9	5. 対策内容と実施時期 6. 対策費用
（・構造物の諸元・直近の点検結果及び次回点検年度） （・対策内容・対策の着手、完了予定年度） （・対策に係る全体概算事業費）		
6. 長寿命化修繕計画による効果	9	
7. 計画策定担当部署及び意見聴取した 学識経験者等の専門知識を有する者	10	

II. 様式1-2

対象橋梁ごとの概ねの次回点検年度
及び対策内容・着手時期又は架替え時期

III. 優先順位一覧表

1. 長寿命化修繕計画の目的

1) 会津坂下町の現状

福島県会津盆地の西部に位置する会津坂下町は、人口13,715人（2025年3月1日現在）面積91.59平方kmの町で、町の東部を阿賀川、西部を只見川が流れ、東側の平野部は水田等の農地が広がり、西側は標高300～400mの山が連なっています。

気候は日本海型気候に属し、盆地特有の内陸性気候で寒暖の差が大きい特徴があります。夏季は高温多湿で、冬期は積雪が1m以上となることもあります。

また、会津の主要都市である会津若松市、喜多方市、会津美里町、柳津町との中間に位置する交通の要所であり、町内には磐越自動車道と会津坂下IC、J R只見線のほか、国道49号、国道252号と6本の県道が通り、町道は354.85kmが整備され、生活道路や農耕、物流のネットワークを形成しています。

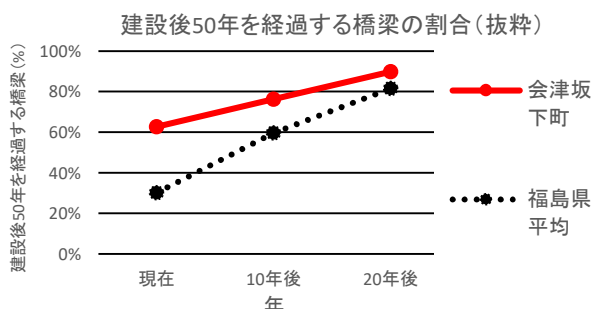
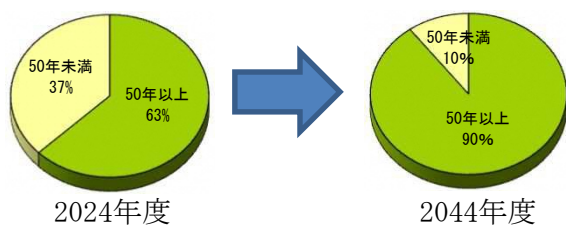
町道に架かる橋梁は59橋ありますが、100m以上の長大橋を3橋有していることや、JR只見線を跨ぐ橋梁1橋を有しているほか、町の東側は水田地帯が広がっていることから、約8割の橋梁が東側に架かっていることが特徴となっています。

そのほか、橋長14.5m以上の橋梁15橋のうち、竣工後40年以上を経過している橋梁は9橋ありますが、そのうち3橋は60年以上を経過する高齢化橋梁となっています。

2) 背景

会津坂下町の管理する橋梁59橋の中で、2024年時点で建設後50年以上を経過する橋梁は全体の約63%を占めており、10年後の2034年には76%、20年後の2044年には90%に増加します。

これらの高齢化を迎える橋梁群に対して、従来の対症療法型の維持管理を続けた場合、橋梁の修繕・架け替えに要する費用が増大となることが懸念されます。



福島県内市町村位置図

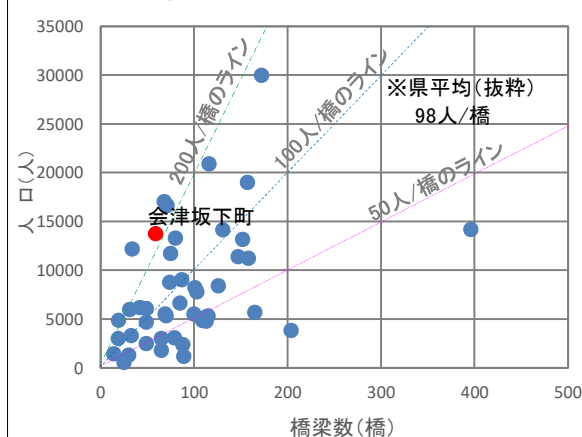


近隣町村との比較

町村名	面積 (km ²)	人口 (人)	人口密度 (人/km ²)	橋梁数 (橋)	橋梁の密度 (橋/km ²)	一橋当りの人口 (人/橋)
会津坂下町	91.59	13715	154	59	0.7	232
北塩原村	234.08	2393	11	49	0.2	49
磐梯町	59.77	3135	55	33	0.6	95
湯川村	16.37	2872	181	19	1.2	151

人口は2025年2・3月現在

福島県内市町村(抜粋)の人口と橋梁数の関係

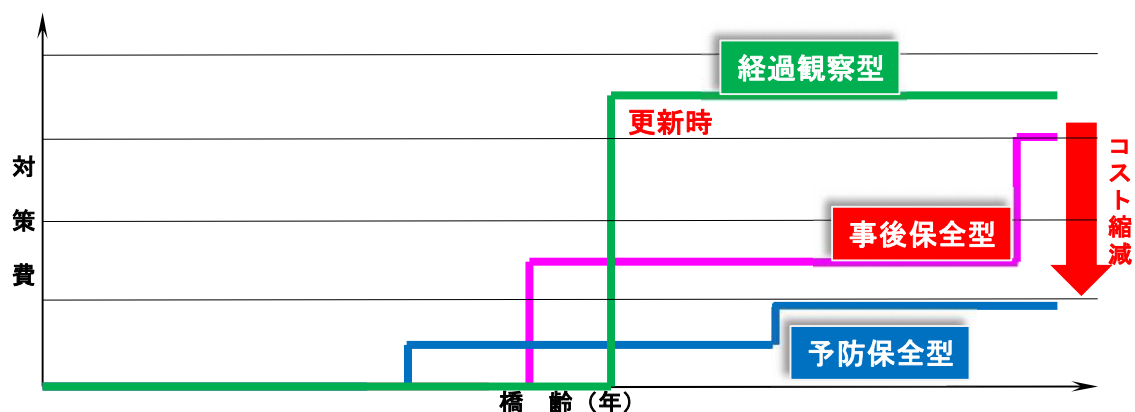
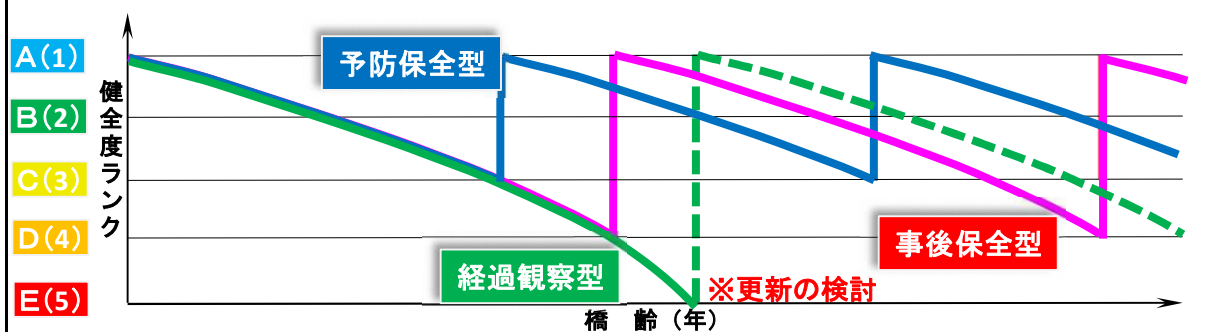


3) 目的

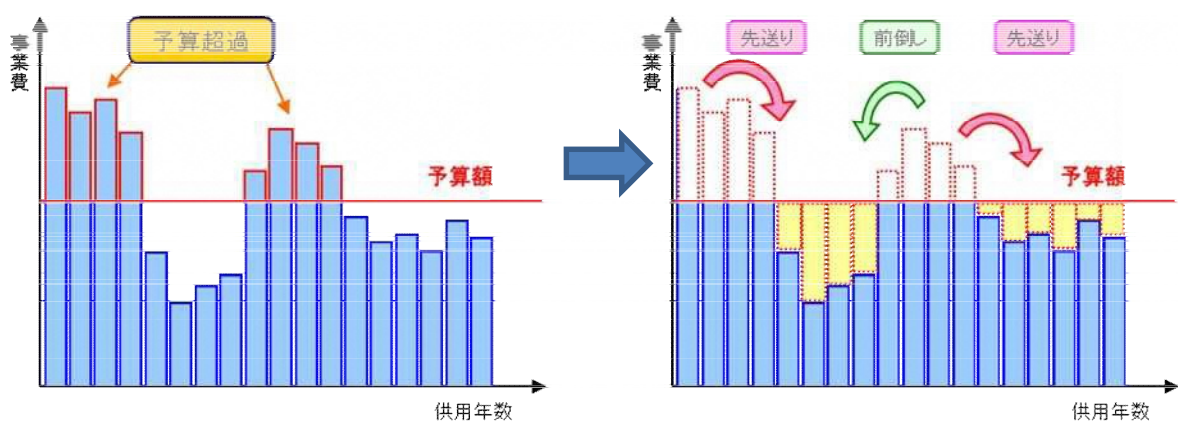
このような背景から、より計画的な橋梁の維持管理を行い、限られた財源の中で効率的に橋梁を維持していくための取り組みが不可欠となります。

将来にわたり橋梁を保全・維持するためには、費用のかかる架替えが一時期に集中しないように長寿命化修繕計画を策定して、財政負担を低減・平準化する必要があり、コスト削減のためには、従来の事後保全型（対症療法型）から、“損傷が大きくなる前に予防的な対策を行う”予防保全型へ転換を図り、橋梁の寿命を延ばす必要があります。

そこで会津坂下町では、将来的な財政負担の低減および道路交通の安全性の確保を図るために、橋梁長寿命化修繕計画を策定します。



対策シナリオのイメージ



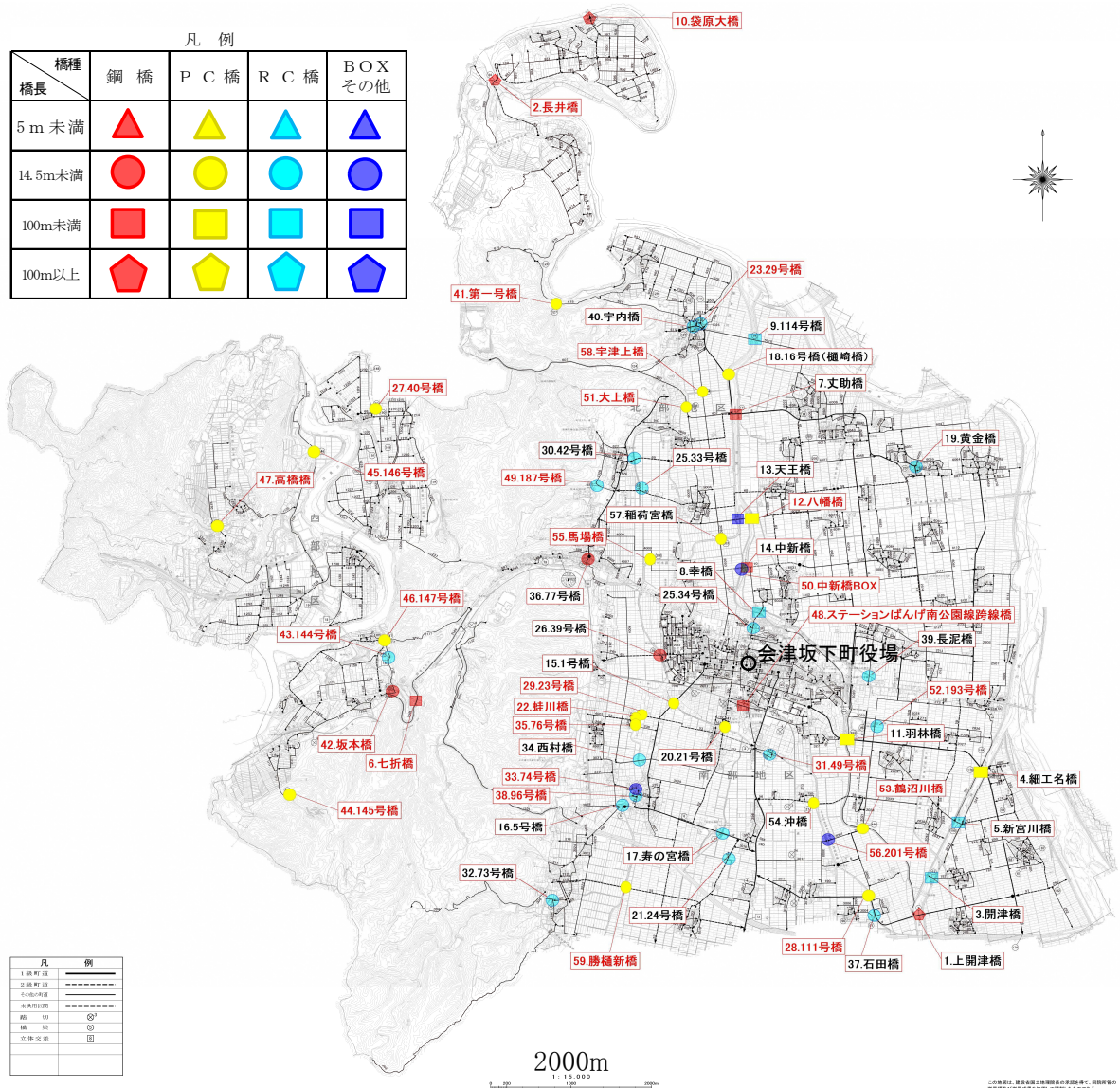
予算平準化のイメージ

2. 長寿命化修繕計画の対象橋梁

(1. 対象施設)

	町道 1級	町道 2級	町道 その他	合計
全管理橋梁数	13	13	33	59
うち計画の対象橋梁数	13	13	33	59
うちこれまでの計画策定橋梁数	10	9	10	29
うち2024年度計画策定橋梁数	3	4	23	30

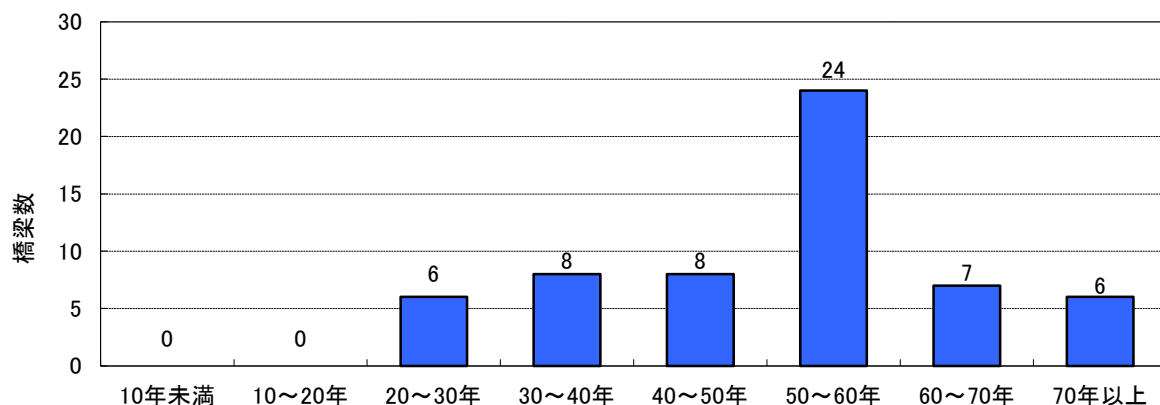
※長寿命化修繕計画の対象：会津坂下町が管理する橋長2.0m以上の橋梁全59橋を対象とします。
(令和4～6年度に2巡目の定期点検を実施した30橋を追加)



対象橋梁位置図 (計59橋)

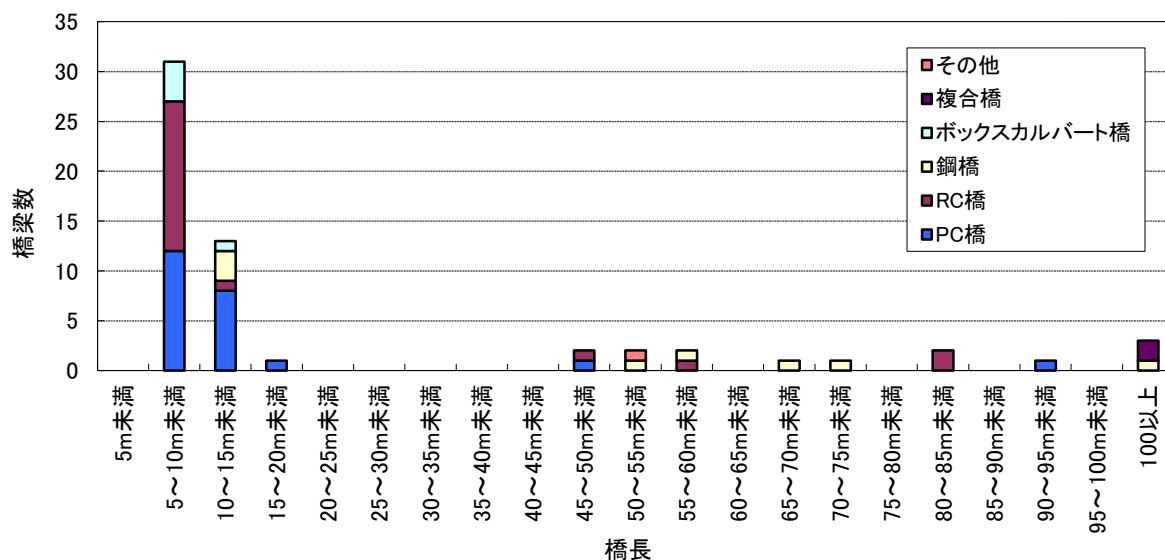
赤字： 令和4～6年度(2巡目)実施橋梁(追加30橋)

経過年数別橋梁数



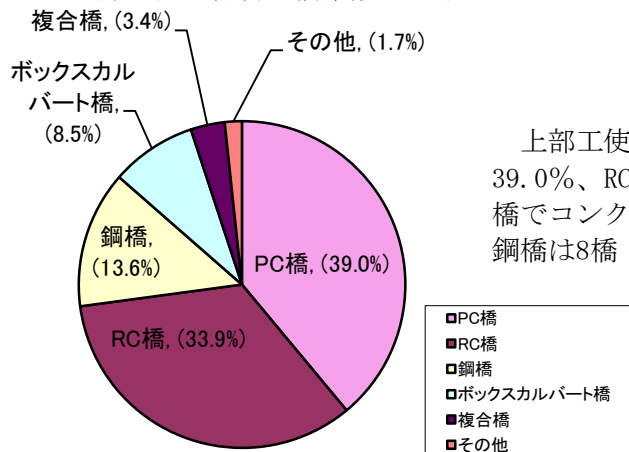
長寿命化修繕計画で対象としている59橋のうち、建設後50年以上を経過している橋梁は37橋あり、全体の63%を占めています。

橋長別橋梁数



長寿命化修繕計画で対象としている59橋のうち、10m未満の橋梁が31橋あり全体の52%を占めています。一方、30m以上の橋梁は14橋あり全体の24%を占めています。

上部工使用材料別橋梁数の比率



上部工使用材料別ではPC橋が23橋で全体の約39.0%、RC橋が20橋、ボックスカルバート橋が5橋でコンクリート橋が全体の81%を占めています。鋼橋は8橋（13.6%）となっています。

3. 健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針 (2. 計画期間)

1) 健全度の把握の基本的な方針

(・老朽化対策における基本方針)

健全度の把握については、国土交通省道路局の「道路橋定期点検要領」（令和6年3月）に基づいて、専門技術者による5年に1回の定期点検及び健全性の診断や、必要に応じて行う詳細点検により、各部材の劣化や損傷の程度などを早期に把握します。

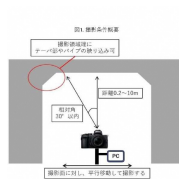
(・新技術等の活用方針)

定期点検における近接方法については、新技術情報提供システム（NETIS）や点検支援技術性能カタログなどを参考に、有用な新技術の活用を検討していきます。

特に、令和16年度までに実施される橋梁定期点検時には、前回点検において診断区分〔Ⅰ〕となった比較的損傷の軽微な小スパンの2橋梁（橋長5m程度の床版橋や溝橋）に対して画像解析及びAI診断等の新技術活用、また、前回ロープアクセス点検を実施した3橋梁に対してドローンの活用を検討し、併せて90万円程度のコスト縮減を目指します。



ドローンによる桁下の点検



デジタルカメラによる溝橋の点検



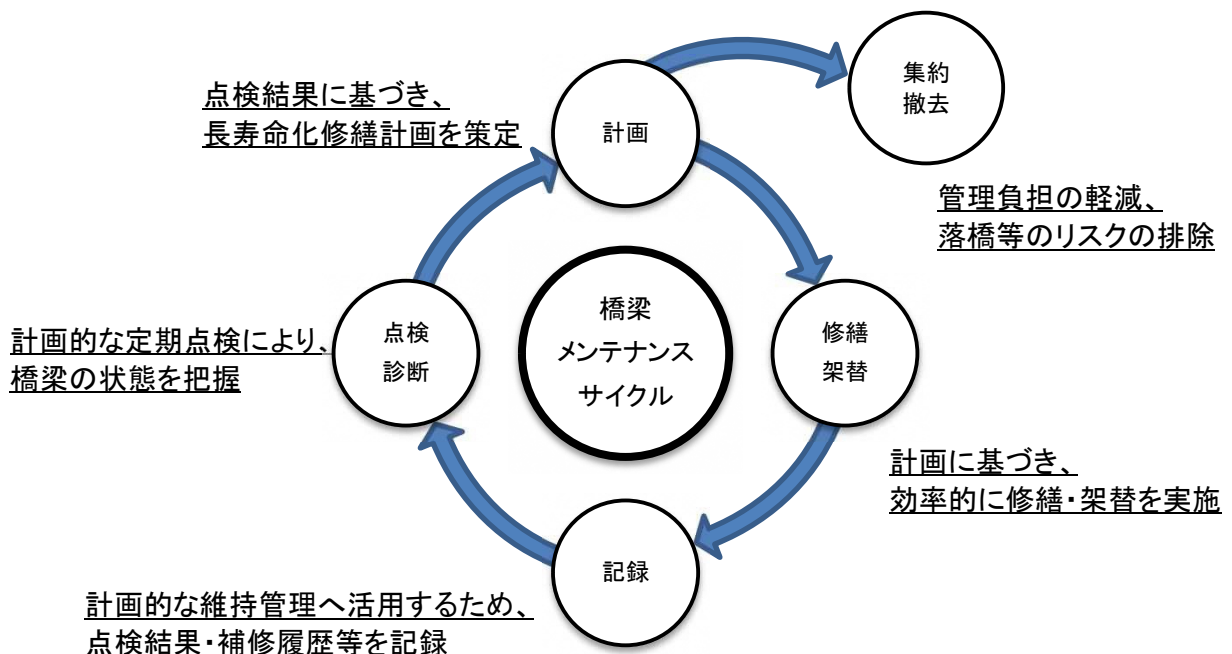
AI・画像診断

橋梁点検における新技術の活用例：（出典）国土交通省「点検支援技術性能カタログ」

2) 日常的な維持管理に関する基本的な方針

利用者の安全性の確保及び橋梁を良好な状態に保つために、町職員及び委託業者によるパトロールを実施し、排水桝清掃や舗装の軽微な補修等の日常的な維持管理を行います。

橋梁メンテナンスサイクル 概念図

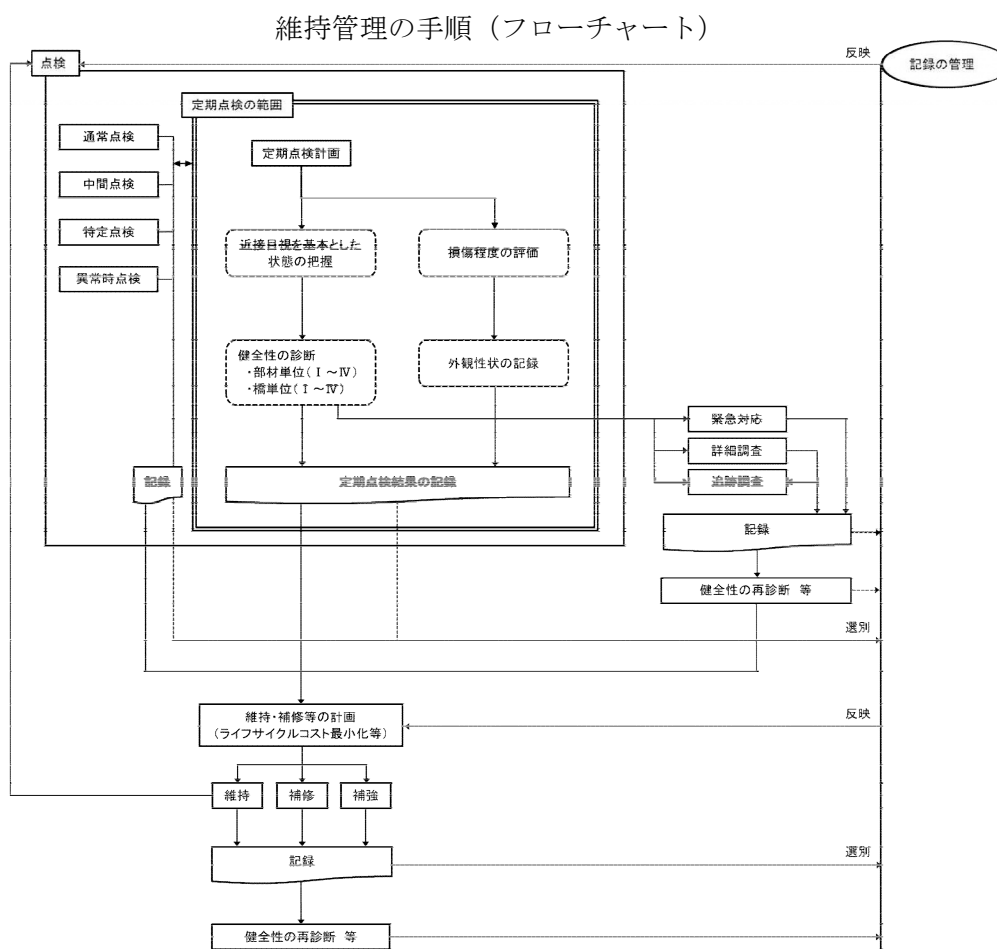


3) 計画期間

5年に1回の定期点検結果を基に中長期的な予測を行い、今後50年間の橋梁長寿命化修繕計画を策定します。（計画期間：2025年～2074年）

3. 健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針

参考：橋梁維持管理の基本的な考え方



出典：橋梁定期点検要領（国土交通省 道路局 国道・技術課、H31.3）を一部修正

点検の種類

通常点検	突発的に生じる不具合や損傷を早期に発見するために、高い頻度で行われる点検。日常巡回やパトロールと合わせて行ったり、巡回やパトロールそのものがこれを兼ねるものと位置づけられる場合もある。
定期点検	橋梁の損傷状況の把握及び健全性の診断をあらかじめ頻度を定めて計画的に実施する詳細な点検。全ての部材に近接して目視調査を行うことが基本であり、必要に応じて非破壊検査機器なども用いて必要な情報を得る。
中間点検	定期点検を補うために、定期点検の中間年に実施するもので、定期点検時に、次回の定期点検まで待たずに途中で状態確認を行うことが必要と判断された場合に計画される。
臨時点検	塩害やアルカリ骨材反応、鋼部材の疲労等の定期点検のみでは適切かつ十分な評価が困難な特定の事象に対して、定期点検とは別に、それぞれの事象に特化した内容によって行われる点検。
異常時点検	地震、台風、集中豪雨、豪雪等の災害や大きな事故が発生した場合などに、橋梁の状態を確認するために臨時で行われる点検。

4. 対象橋梁の長寿命化及び修繕・架替えに係る費用の縮減に関する基本的な方針 (3. 対策の優先順位の考え方)

会津坂下町が管理する橋梁の中で、架設後30年以上を経過した橋梁は全体の90%を占めているため、近い将来一斉に架替時期を迎えることが予想されます。したがって、計画的かつ予防的な修繕対策の実施へと転換を図り、橋梁の寿命を100年以上とすることを目標とし、修繕及び架替えに要するコストを縮減します。

1) 管理区分の設定

修繕計画策定にあたり、橋梁の諸元情報（橋長や幅員等）や重要度を考慮した管理区分を橋梁毎に設定します。

管理区分の定義

管理区分	該当橋梁	補修時期	寿命	点検方法		簡易予防保全	
				日常巡回 ※2	橋梁点検 (1回/5年) ※3	橋面 洗浄	桁 洗浄
S 本格予防保全型	・跨線橋 ・跨道橋 ・橋長100m以上 ・重要度(※1) 該当3つ	健全度ランクD(4) にしない	原則架替え は行わない	○	○	② ※4	②
A 予防保全型	重要度該当2つ	健全度ランクD(4) にしない	100年	○	○	⑤	⑤
B 事後保全型	重要度該当0 または1つ	健全度ランクE(5) にしない	60年	○	○		⑤
C 経過観察型	・重要度該当0 かつ ・カルバート橋 ・5m未満橋梁 ・仮橋 ・橋梁以外の形式	健全度ランクE(5) になるまで	耐用年数 まで	○	○		
備考	※1「重要度」 ①緊急輸送路 ②1,2級市町村道 ③バス路線		特殊橋梁は 橋梁ごとに 設定	※2「日常巡回」は、排水樹の 清掃及び畜産面の堆積土砂 除去を実施(費用は計上せ ず) ※3橋梁点検費用は計上		※4簡易予防保 全費用を橋梁ごと に計上する ②:2年に1回 ⑤:5年に1回	

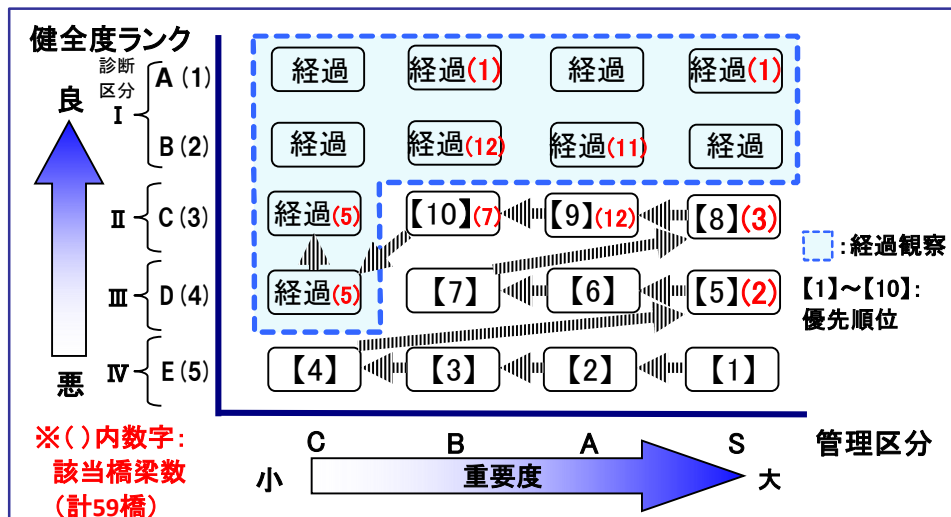
(・費用の縮減に関する具体的な方針)

会津坂下町の管理する橋梁の中には、供用開始当時に比べ利用状況が著しく減少している橋梁もあることから、健全度および利用状況や代替え路の有無を把握したうえで、周辺住民との合意形成を図り、橋の統廃合（集約・撤去）も視野に入れた維持管理を行っていきます。現時点で集約・撤去の対象となる道路橋はありませんが、今後の法定点検の結果および利用状況等をふまえ、必要に応じて集約・撤去を検討していきます。

また、1m程度の水路を跨ぐ小規模橋梁については、対策が必要となった時点でボックスカルバート（溝橋の定義外）への架け替えも検討して、補修費や点検費等の縮減に努めます。
※検討橋梁：黄金橋（本橋を管理外とすることで維持管理費用が約0.4億円削減/50年）

2) 優先順位のつけ方

優先順位は以下の図により管理区分と主要部材の健全度の関係から決めるものとします。



3) 橋梁毎の点検結果 (4. 個別施設の状態等)

3-1) 定期点検結果

会津坂下町は令和元年度～令和6年度に近接目視による定期点検及び橋梁毎の健全性の診断を行いました。橋梁毎の点検結果は以下のとおりです。

定期点検結果一覧
(診断区分[Ⅲ・Ⅱ]、健全度ランク[D(4)・C(3)]を抜粋：計34橋/59橋)

管理番号	橋梁名	橋長(m)	径間数	上部工使用材料	上部工構造形式	車道幅員(m)	竣工年	経過年	前回健全度区分	今回健全度区分	今回健全度ランク	部材種別	適用
2	長井橋	117.00	3	鋼溶接橋	I桁(不明)	5.50	1967	58	Ⅲ	Ⅲ	D(4)	主構トラス	(一部補修済)腐食、防食機能の劣化
3	開津橋	82.25	7	RC橋	RC T桁	2.70	1951	74	Ⅲ	Ⅲ	D(4)	主桁、床版、下部工	ひびわれ、鉄筋露出、遊離石灰、うき、欠損
5	新宮川橋	82.70	9	RC橋	RC T桁	4.50	1951	74	Ⅲ	Ⅲ	D(4)	主桁、横桁、床版	漏水・遊離石灰、ひびわれ、うき
6	七折橋	74.50	3	鋼溶接橋	ラーメン橋	9.00	1968	57	Ⅲ	Ⅲ	D(4)	主桁、支承	腐食、防食機能の劣化、破断
7	丈助橋	65.70	3	H型鋼	H形鋼(不明)	4.50	1971	54	Ⅲ	Ⅲ	D(4)	床版、支承部	変形・欠損
10	袋原大橋	152.70	3	鋼溶接橋	I桁(不明)	6.50	1980	45	Ⅲ	Ⅲ	D(4)	下部工	ひびわれ、漏水・遊離石灰
42	坂本橋	11.10	1	H型鋼	H形鋼(不明)	4.00	1965	60	Ⅲ	Ⅲ	D(4)	主桁、横桁、支承	腐食、破断、防食機能劣化、支承機能障害
1	上開津橋	100.06	3	鋼溶接橋	I桁(不明)	5.55	1970	55	Ⅲ	Ⅱ	C(3)	主桁、横桁、床版、下部工	腐食、ひびわれ、鉄筋露出、うき、遊離石灰
4	細工名橋	92.30	3	PC橋	ボスデンT桁	7.50	1985	40	Ⅱ	Ⅱ	C(3)	主桁、下部工	ひびわれ
8	幸橋	55.09	5	RC橋	RC T桁	2.80	1937	88	Ⅲ	Ⅱ	C(3)	主桁、下部工	(補修済)うき、ひびわれ
9	114号橋	45.30	3	RC橋	RC T桁	4.02	1972	53	Ⅱ	Ⅱ	C(3)	主桁、支承部	ひびわれ、腐食、土砂詰まり
13	天王橋	53.05	2	その他	その他	7.00	1999	26	Ⅱ	Ⅱ	C(3)	床版、下部工	床版ひびわれ、遊離石灰、定着部異常、うき、鉄筋露出
14	中新橋	51.50	2	鋼溶接橋	I桁(不明)	6.10	1997	28	I	Ⅱ	C(3)	床版、下部工	漏水・遊離石灰、ひびわれ
16	5号橋	7.00	1	RC橋	RC 中実床版	10.20	1975	50	Ⅱ	Ⅱ	C(3)	主桁、支承部	ひびわれ、腐食、土砂詰まり
17	寿の宮橋	5.80	1	RC橋	RC 中実床版	7.00	1978	47	Ⅱ	Ⅱ	C(3)	床版、下部工	床版ひびわれ、漏水・遊離石灰
18	16号橋(極崎橋)	8.60	1	PC橋	プレテン床版	7.00	1983	42	Ⅱ	Ⅱ	C(3)	床版、下部工	ひびわれ、漏水・遊離石灰
19	黄金橋	6.50	1	RC橋	RC 中実床版	3.60	1965	60	Ⅱ	Ⅱ	C(3)	下部工	ひびわれ、漏水・遊離石灰、変形・欠損
21	24号橋	7.30	1	RC橋	RC 中実床版	7.10	1975	50	Ⅲ	Ⅱ	C(3)	床版、下部工、支承部	(補修済)ひびわれ、遊離石灰、欠損、土砂詰まり
22	蛭川橋	13.50	1	PC橋	プレテン床版	5.00	1982	43	Ⅱ	Ⅱ	C(3)	頂版、側壁	ひびわれ
26	39号橋	12.00	1	H型鋼	H形鋼(不明)	5.00	1970	55	Ⅱ	Ⅱ	C(3)	主桁、横桁、床版、下部工	腐食、床版ひびわれ、遊離石灰、ひびわれ、鉄筋露出
29	23号橋	10.40	1	PC橋	プレテン床版	3.50	1975	50	I	Ⅱ	C(3)	頂版	ひびわれ
30	42号橋	6.90	1	RC橋	RC 中実床版	7.00	1975	50	Ⅱ	Ⅱ	C(3)	床版、下部工	漏水・遊離石灰、ひびわれ
31	49号橋	5.50	1	RC橋	RC 中実床版	3.20	1965	60	Ⅱ	Ⅱ	C(3)	床版、下部工	床版ひびわれ、漏水・遊離石灰
32	73号橋	6.20	1	RC橋	RC 中実床版	5.50	1975	50	I	Ⅱ	C(3)	下部工	漏水・遊離石灰
33	74号橋	7.60	1	RC橋	RC溝橋(BOXカルバート)	6.00	1975	50	Ⅱ	Ⅱ	C(3)	下部工	変形・欠損
34	西村橋	9.00	1	RC橋	RC 中実床版	6.00	1981	44	I	Ⅱ	C(3)	下部工	ひびわれ
35	76号橋	11.30	1	PC橋	プレテンT桁	2.00	1975	50	Ⅱ	Ⅱ	C(3)	下部工、支承部	ひびわれ、変色・劣化
37	石田橋	6.90	1	RC橋	RC T桁	3.40	1954	71	Ⅱ	Ⅱ	C(3)	主桁、下部工	うき、ひびわれ、剝離・鉄筋露出
38	96号橋	7.65	1	RC橋	RC溝橋(BOXカルバート)	4.00	1965	23	Ⅱ	Ⅱ	C(3)	下部工	ひびわれ、漏水・遊離石灰
41	第1号橋	11.00	1	PC橋	プレテン床版	3.20	1975	50	Ⅱ	Ⅱ	C(3)	床版、下部工	床版ひびわれ、ひびわれ
43	144号橋	14.40	2	RC橋	RC 中実床版	3.60	1955	70	Ⅱ	Ⅱ	C(3)	支承	土砂詰まり
54	201号橋	7.85	2	RC橋	RC溝橋(BOXカルバート)	5.00	1975	50	Ⅱ	Ⅱ	C(3)	床版、下部工	床版ひびわれ、定着部の異常
55	稲荷宮橋	10.50	1	PC橋	プレテン床版	6.00	1994	31	Ⅱ	Ⅱ	C(3)	主桁	ひびわれ、漏水・遊離石灰
59	中新橋BOX	8.00	1	RC橋	RC溝橋(BOXカルバート)	6.00	1997	28	Ⅱ	Ⅱ	C(3)	下部工	ひびわれ、漏水・遊離石灰

定期点検による診断区分と修繕計画健全度ランクの関係 (計59橋)

健全性の診断の区分		定義	健全度ランク	判定区分	備考	該当橋梁数	割合
I	健全	構造物の機能に支障が生じていない状態	A(1)	健全	損傷が認められない	2橋	3%
II	予防保全段階	構造物の機能に支障が生じていないが、 予防保全の観点から措置を講ずる ことが望ましい状態	B(2)	対策不要	損傷が軽微で補修を行う必要がない	23橋	39%
III	早期措置段階	構造物の機能に支障が生じている可能性があり、 早期に措置を講ずべき 状態	C(3)	状況に応じ早めに対策	状況に応じて補修を行う必要がある	27橋	46%
			D(4)	早急に補修必要	速やかに補修を行う必要がある	7橋	12%
IV	緊急措置段階	構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、 緊急に措置を講ずべき 状態	E(5)	緊急対応の必要	緊急対策の必要がある	0橋	0%

計 59橋

5. 対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期又は架替え時期（5. 対策内容と実施時期）
（・ 構造物の諸元、直近の点検結果及び次回点検年度）
（・ 対策内容、対策の着手・完了予定年度）
（・ 対策に係る全体概算事業費）（6. 対策費用）

様式1-2に、直近10年間の概ねの計画を示します。

補修工法の選定にあたっては、NETIS等に登録され活用促進技術に指定されている新技術について、従来工法とのライフサイクルコストの比較検討を行った後に積極的に採用し、維持管理費用の縮減や再劣化防止等に努めていきます。

●活用促進技術に指定されている新技術の例

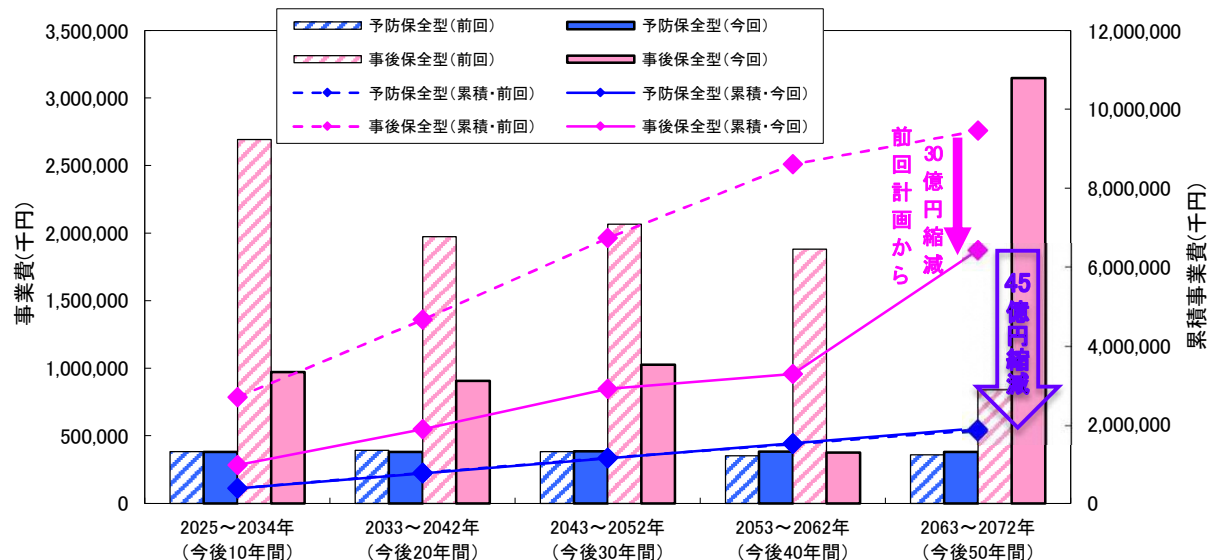
- ・ 鋼部材の塗装（鍍転換型防食塗装）。
- ・ コンクリート部材の補修（断面修復工、表面含浸工）。
- ・ 伸縮装置の止水・漏水対策、取替。

様式1-2、優先順位一覧表に概算の事業費を示します。

6. 長寿命化修繕計画による効果

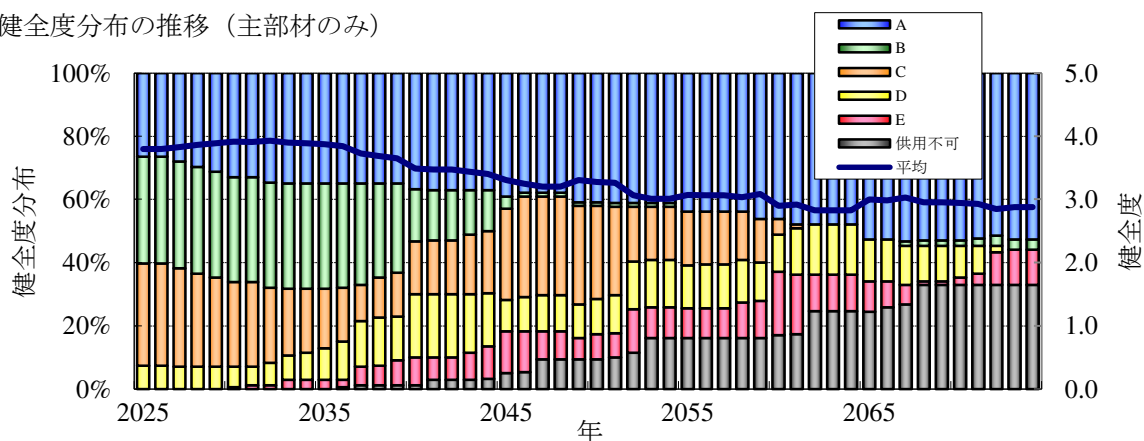
会津坂下町が管理する橋梁について、点検結果を基に今後50年間の予算シミュレーションを行い、以下の結果が得られました。

長寿命化修繕計画を策定する59橋について、年間の予算制約額を0.40億円とし今後50年間の事業費を比較すると、従来の事後保全型（対症療法型）が64億円に対し、長寿命化修繕計画の実施による予防保全型が19億円となり、コスト縮減効果は45億円（70%減）となります。



また、計画的な修繕を実施することにより、良好な健全度を維持することが可能となり、損傷に起因する通行制限等が減少し、道路の安全性及び信頼性が確保されます。

健全度分布の推移（主部材のみ）



7. 計画策定担当部署および意見聴取した学識経験者等の専門知識を有する者

1) 計画策定担当部署
会津坂下町 建設課 tel:0242-84-1506

2) 意見を聴取した学識経験者等の専門知識を有する者
日本大学 工学部 土木工学科 教授 岩城 一郎

【様式 1 - 2】

5. 対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期又は架替時期（直近10年間）

年間予算額：0.40億円

凡例：  対策を実施すべき時期、補修部材及び補修内容を示す。

橋梁名	道路 種別	路線名	橋長 (m)	架設 年度	供用 年数	最新 点検 年次	最新 点検 結果	管理 区分	対策の内容・時期												合計 (千円) ※1・2
									R7 2025	R8 2026	R9 2027	R10 2028	R11 2029	R12 2030	R13 2031	R14 2032	R15 2033	R16 2034			
袋原大橋	2級	袋原線	152.7	1980	45	R5	Ⅲ	S	橋脚：ひび割れ補修&断面修復&足場			点検					点検			110,652	
長井橋	2級	袋原線	117	1967	58	R5	Ⅲ	S	主部材：足場 等			点検					主部材：塗装 等			47,110	
細工名橋	1級	坂下東原線	92.3	1985	40	R6	Ⅱ	S				点検	橋台：ひび割れ補修 等						点検	43,953	
上開津橋	1級	金沢線	100.06	1970	55	R6	Ⅱ	S				点検				主部材：塗装 等			点検	60,786	
寿の宮橋	1級	寿の宮線	5.8	1978	47	R6	Ⅱ	S				橋台：ひび割れ補修 等	点検						点検	12,155	
3 9号橋	2級	坂下杉線	12	1970	55	R6	Ⅱ	A	主部材：3種ケレン&塗装&足場			点検							点検	20,728	
1 6号橋（樋崎橋）	1級	宇内沼越線	8.6	1983	42	R6	Ⅱ	A	主部材：ひび割れ補修&断面修復&足場			点検							点検	14,931	
幸橋	2級	坂下青津線	55.09	1937	88	R6	Ⅱ	A	橋脚：ひび割れ補修 等			点検							点検	11,829	
中新橋	1級	政所新館線	51.5	1997	28	R6	Ⅱ	A	点検			点検							点検		
2 4号橋	2級	樋渡線	7.3	1975	50	R6	Ⅱ	A				点検	床版：床版防水&ひび割れ補修&足場						点検	6,986	
4 2号橋	2級	大上見明線	6.9	1975	50	R6	Ⅱ	A	橋台：ひび割れ補修 等			点検							点検	16,780	
天王橋	その他	八日沢線	53.05	1999	26	R6	Ⅱ	A				点検							点検		
5号橋	1級	寿の宮線	7	1975	50	R6	Ⅱ	A				点検				橋台：ひび割れ補修 等			点検	16,264	
1 1 4号橋	その他	宇内青津線	45.3	1972	53	R6	Ⅱ	A				点検							点検		
蛭川橋	2級	蛭川線	13.5	1982	43	R4	Ⅱ	A			点検					点検					
西村橋	その他	一本杉東線	9	1981	44	R6	Ⅱ	A				点検							点検		
中新橋ＢＯＸ	1級	政所新館線	8	1997	28	R5	Ⅱ	A			点検						点検				
2 3号橋	その他	蛭川東線	10.4	1975	50	R4	Ⅱ	B			点検					点検					
7 6号橋	その他	蛭川通学線	11.3	1975	50	R4	Ⅱ	B			点検					点検					
1 4 4号橋	その他	和泉東線	14.4	1955	70	R4	Ⅱ	B			点検					橋脚：断面修復 等				601	
第1号橋	その他	宇内村西線	11	1975	50	R4	Ⅱ	B			点検			地覆：打換 等		点検				9,427	
7 3号橋	その他	勝方沢口沢線	6.2	1975	50	R6	Ⅱ	B				点検							点検		
稲荷宮橋	その他	坂下宇内線	10.5	1994	31	R6	Ⅱ	B				点検							点検		
4 9号橋	その他	原村前線	5.5	1965	60	R5	Ⅱ	B	伸縮装置			点検	取替(始端側) 等					点検		3,349	
文助橋	1級	宇内沼越線	65.7	1971	54	R6	Ⅲ	C				点検							点検		
新宮川橋	その他	福原中開津線	82.7	1951	74	R6	Ⅲ	C				点検							点検		
開津橋	その他	中開津西線	82.25	1951	74	R6	Ⅲ	C				点検							点検		
七折橋	その他	七折街道線	74.5	1968	57	R5	Ⅲ	C				点検						点検			
坂本橋	その他	和泉東線	11.1	1965	60	R6	Ⅲ	C				点検							点検		
石田橋	その他	上金沢上新田線	6.75	1954	71	R6	Ⅱ	C				点検							点検		
黄金橋	1級	宇内沼越線	6.5	1965	60	R6	Ⅱ	C				点検							点検		
7 4号橋	その他	牛川西村線	7.6	1975	50	R6	Ⅱ	C				点検							点検		
2 0 1号橋	その他	橋本金沢線	7.85	1975	50	R6	Ⅱ	C				点検							点検		
9 6号橋	その他	牛川寺前線	7.65	2002	23	R5	Ⅱ	C				点検						点検			
羽林橋	1級	坂下東原線	15.8	1990	35	R6	I	A				点検							点検		
2 1号橋	2級	中村線	8.4	1965	60	R6	I	A				点検							点検		
1号橋	1級	勝大線	8.1	1975	50	R6	I	A				点検							点検		
4 0号橋	2級	窪倉大原線	7.35	1975	50	R6	I	A				点検							点検		
3 4号橋	2級	坂下青津線	5.9	1970	55	R6	I	A				点検							点検		
2 9号橋	1級	宇内沼越線	11	1975	50	R4	I	A			点検						点検				
沖橋	2級	沖・下新田線	9	1999	26	R6	I	A				点検							点検		
勝樋新橋	2級	勝方・樋渡線	9.1	1991	34	R6	I	A				点検							点検		

年間予算額：0.40億円

凡例：  対策を実施すべき時期、補修部材及び補修内容を示す。

橋梁名	道路種別	路線名	橋長(m)	架設年度	供用年数	最新点検年次	最新点検結果	管理区分	対策の内容・時期										合計(千円) ※1・2
									R7 2025	R8 2026	R9 2027	R10 2028	R11 2029 点検	R12 2030	R13 2031	R14 2032	R15 2033	R16 2034 点検	
3 3号橋	2級	谷地見明線	7.58	1965	60	R6	I	A					点検					点検	
八幡橋	その他	八日沢線	45.9	2001	24	R6	I	A					点検					点検	
1 1 1号橋	1級	金沢線	7.35	1975	50	R5	I	A				点検					点検		
1 4 6号橋	その他	片間洲線	5.35	1965	60	R6	I	B					点検					点検	
高橋橋	その他	束松3号線	10.3	1981	44	R6	I	B					点検					点検	
長泥橋	その他	金上西線	7.6	1975	50	R6	I	B					点検					点検	
1 8 7号橋	その他	見明3号線	6.4	1975	50	R6	I	B					点検					点検	
1 9 3号橋	その他	福原海老細線	5.4	1975	50	R5	I	B				点検					点検		
宇内橋	その他	宇内津尻線	6.2	1981	44	R6	I	B					点検					点検	
1 4 5号橋	その他	朝立南線	6.1	1955	70	R5	I	B				点検					点検		
鶴沼川橋	その他	村田下新田線	12.75	1990	35	R4	I	B			点検					点検			
宇津上橋	その他	坂下宇内線	7.75	1987	38	R4	I	B			点検					点検			
大上橋	その他	勝負沢線	9.45	1990	35	R6	I	B					点検					点検	
7 7号橋	その他	塔寺寺前線	12.3	1975	50	R6	I	B					点検					点検	
馬場橋	その他	早乙女通り線	10.6	1992	33	R6	I	B					点検					点検	
ステーションばんげ 南公園線跨線橋	その他	ステーションばんげ 南公園線	58.5	1990	35	R5	I	S				点検					点検		
1 4 7号橋	その他	気多宮和泉線	9.4	1965	60	R5	I	B				点検	伸縮装置:取替(始端側)等				点検		2,791
合 計 (千円) ※1・2									35,133	37,984	37,734	39,023	37,824	37,474	37,923	39,728	37,760	37,760	

※1：費用は工事費のみを計上しているため、点検費・設計費については別途計上すること。
※2：工事費は概算であるため、工事発注の際は別途積算すること。

優先順位一覧 制約0.4億円 会津坂下町(59橋)

計画期間：2025年(令和7年)～2074年 50年間

■:健全度E(5)

■:健全度D(4)

■:健全度C(3)

■:健全度B(2)

■:健全度A(1)

番号	橋梁名	諸元								重要度評価指標								総合評価指標				部材健全度		優先 順位指標 (A+100-B)	優先 順位	優先 順位 区分	管理 区分	管理区分内訳										余寿命 (年)	今後50年補修費用			橋梁名	
		橋長 (m)	径間 数	上部工 使用材料	上部工 構造形式	車道 幅員 (m)	竣工 年	経過 年	緊急 輸送路	道路 等級	緊急 輸送路	橋長	車道 幅員	道路 区分	バス 路線	交差 条件	重要度 合計 (A)	耐荷性	災害 抵抗性	走行 安全性	平均 (B)	部材 種別	健全度 ランク					緊急 輸送路	道路 区分	バス 路線	該当 数	評価 ①	交差 条件	評価 ②	橋長 5m未満	カルバート 特異形式	評価 ③		今後5年 (百万円)	残り (百万円)	合計 (百万円)		
10	袋原大橋	152.70	3	鋼溶接橋	I桁(不明)	6.50	1980	45	-	2級	0	15	10	5	0	0	30	5.0	0.0	40.0	15.0	下部工	D(4)	115.0	1	5	S	-	○	-	1	B	-	-	-	-	B	-	35.1	347.6	382.7	袋原大橋	
2	長井橋	117.00	3	鋼溶接橋	I桁(不明)	5.50	1967	58	-	2級	0	15	5	5	10	0	35	5.0	40.0	60.0	35.0	主部材	D(4)	100.0	2	5	S	-	○	○	2	A	-	-	-	-	B	-	47.1	223.6	270.7	長井橋	
4	細工名橋	92.30	3	PC橋	ボステンT桁	7.50	1985	40	第1次 確保路線	1級	10	10	10	10	10	0	50	30.0	35.0	65.0	43.3	主部材	C(3)	106.7	3	8	S	○	○	○	3	S	-	-	-	-	B	-	22.9	21.1	44.0	細工名橋	
1	上開津橋	100.06	3	鋼溶接橋	I桁(不明)	5.55	1970	55	-	1級	0	15	5	10	0	0	30	20.0	25.0	40.0	28.3	主部材	C(3)	101.7	4	8	S	-	○	-	1	B	-	-	-	-	B	-	0.0	188.0	188.0	上開津橋	
17	寿の宮橋	5.80	1	RC橋	RC 中実床版	7.00	1978	47	第1次 確保路線	1級	10	0	10	10	10	0	40	60.0	40.0	50.0	50.0	床版	C(3)	90.0	5	8	S	○	○	○	3	S	-	-	-	-	B	-	12.2	13.0	25.1	寿の宮橋	
26	39号橋	12.00	1	H型钢	H形鋼(不明)	5.00	1970	55	-	2級	0	0	5	5	0	0	10	10.0	20.0	40.0	23.3	主部材	C(3)	86.7	6	9	A	-	○	-	1	B	-	-	-	-	B	50以上	20.7	0.0	20.7	39号橋	
18	16号橋(樋崎橋)	8.60	1	PC橋	ブレン床版	7.00	1983	42	-	1級	0	0	10	10	0	0	20	35.0	30.0	45.0	36.7	床版	C(3)	83.3	7	9	A	-	○	-	1	B	-	-	-	-	B	50以上	14.9	0.0	14.9	16号橋(樋崎橋)	
8	幸橋	55.09	5	RC橋	RC T桁	2.80	1937	88	-	2級	0	10	0	5	10	0	25	30.0	35.0	65.0	43.3	主部材	C(3)	81.7	8	9	A	-	○	○	2	A	-	-	-	-	B	50以上	11.8	138.1	150.0	幸橋	
14	中新橋	51.50	2	鋼溶接橋	I桁(不明)	6.10	1997	28	-	1級	0	10	10	10	0	0	30	60.0	40.0	50.0	50.0	床版	C(3)	80.0	9	9	A	-	○	-	1	B	-	-	-	-	B	50以上	0.0	154.8	154.8	中新橋	
21	24号橋	7.30	1	RC橋	RC 中実床版	7.10	1975	50	-	2級	0	0	10	5	10	0	25	60.0	40.0	50.0	50.0	床版	C(3)	75.0	10	9	A	-	○	○	2	A	-	-	-	-	B	50以上	0.0	7.0	7.0	24号橋	
30	42号橋	6.90	1	RC橋	RC 中実床版	7.00	1975	50	-	2級	0	0	10	5	10	0	25	60.0	40.0	50.0	50.0	床版	C(3)	75.0	11	9	A	-	○	○	2	A	-	-	-	-	B	50以上	16.8	6.2	23.0	42号橋	
13	天王橋	53.05	2	その他	その他	7.00	1999	26	-	その他	0	10	10	0	0	0	20	60.0	40.0	50.0	50.0	床版	C(3)	70.0	12	9	A	-	-	-	0	C	-	-	-	-	B	50以上	0.0	116.7	116.7	天王橋	
16	5号橋	7.00	1	RC橋	RC 中実床版	10.20	1975	50	-	1級	0	0	10	10	10	0	30	75.0	45.0	75.0	65.0	下部工	C(3)	65.0	13	9	A	-	○	○	2	A	-	-	-	-	B	50以上	0.0	16.3	16.3	5号橋	
9	114号橋	45.30	3	RC橋	RC T桁	4.02	1972	53	-	その他	0	5	5	0	0	0	10	30.0	50.0	65.0	48.3	主部材	C(3)	61.7	14	9	A	-	-	-	0	C	-	-	-	-	B	50以上	0.0	0.0	0.0	114号橋	
22	蛭川橋	13.50	1	PC橋	ブレン床版	5.00	1982	43	-	2級	0	0	5	5	0	0	10	30.0	50.0	65.0	48.3	主部材	C(3)	61.7	15	9	A	-	○	-	1	B	-	-	-	-	B	50以上	0.0	0.0	0.0	蛭川橋	
34	西村橋	9.00	1	RC橋	RC 中実床版	6.00	1981	44	-	その他	0	0	10	0	10	0	20	75.0	45.0	75.0	65.0	下部工	C(3)	55.0	16	9	A	-	-	○	1	B	-	-	-	-	B	50以上	0.0	19.6	19.6	西村橋	
59	中新橋BOX	8.00	1	RC橋	RC溝橋(BOXカルバート)	6.00	1997	28	-	1級	0	0	10	10	0	0	20	90.0	50.0	100.0	80.0	下部工	C(3)	40.0	17	9	A	-	○	-	1	B	-	-	-	○	C	50以上	0.0	17.5	17.5	中新橋BOX	
29	23号橋	10.40	1	PC橋	ブレン床版	3.50	1975	50	-	その他	0	0	5	0	0	0	5	10.0	20.0	40.0	23.3	主部材	C(3)	81.7	18	10	B	-	-	-	-	0	C	-	-	-	-	B	50以上	0.0	0.0	0.0	23号橋
35	76号橋	11.30	1	PC橋	ブレンT桁	2.00	1975	50	-	その他	0	0	0	0	0	0	0	35.0	30.0	45.0	36.7	床版	C(3)	63.3	19	10	B	-	-	-	0	C	-	-	-	-	B	50以上	0.0	19.1	19.1	76号橋	
43	144号橋	14.40	2	RC橋	RC 中実床版	3.60	1955	70	-	その他	0	0	5	0	0	0	5	75.0	45.0	75.0	65.0	下部工	C(3)	40.0	20	10	B	-	-	-	0	C	-	-	-	-	B	30	0.0	0.6	0.6	144号橋	
41	第1号橋	11.00	1	PC橋	ブレン床版	3.20	1975	50	-	その他	0	0	5	0	0	0	5	75.0	45.0	75.0	65.0	下部工	C(3)	40.0	21	10	B	-	-	-	0	C	-	-	-	-	B	50以上	0.0	11.5	11.5	第1号橋	
32	73号橋	6.20	1	RC橋	RC 中実床版	5.50	1975	50	-	その他	0	0	5	0	0	0	5	75.0	45.0	75.0	65.0	下部工	C(3)	40.0	22	10	B	-	-	-	0	C	-	-	-	-	B	50以上	0.0	0.0	0.0	73号橋	
55	稲荷宮橋	10.50	1	PC橋	ブレン床版	6.00	1994	31	-	その他	0	0	10	0	0	0	10	50.0	80.0	90.0	73.3	主部材	C(3)	36.7	23	10	B	-	-	-	0	C	-	-	-	-	B	50以上	0.0	0.0	0.0	稲荷宮橋	
31	49号橋	5.50	1	RC橋	RC 中実床版	3.20	1965	60	-	その他	0	0	5	0	0	0	5	70.0	90.0	50.0	70.0	床版	C(3)	35.0	24	10	B	-	-	-	0	C	-	-	-	-	B	40	3.3	0.0	3.3	49号橋	
7	大助橋	65.70	3	H型钢	H形鋼(不明)	4.50	1971	54	-	1級	0	10	5	10	0	0	25	0.0	0.0	15.0	5.0	床版	D(4)	120.0	25	経	C	-	○	-	1	B	-	-	-	-	B	50以上	0.0	0.0	0.0	大助橋	
5	新宮川橋	82.70	9	RC橋	RC T桁	4.50	1951	74	-	その他	0	10	5	0	0	0	15	0.0	5.0	10.0	5.0	主部材	D(4)	110.0	26	経	C	-	-	-	0	C	-	-	-	-	B	50以上	0.0	0.0	0.0	新宮川橋	
3	開津橋	82.25	7	RC橋	RC T桁	2.70	1951	74	-	その他	0	10	0	0	0	0	10	0.0	0.0	10.0	3.3	主部材	D(4)	106.7	27	経	C	-	-	-	0	C	-	-									